

地域支援だより

山梨県立ふじざくら支援学校
地域支援部通信 第4号
令和4年1月吉日発行
文責：古屋 智子

新しい年が始まりました。今年もよろしくお願ひいたします。

新しい年のスタート、朝の冷えた空気がより一層、身も心も気を引き締めてくれるような気がします。富士北麓地域でも、再び感染数が増加し、まだまだ終わりの見えないコロナ禍の生活が続いています。私たちができる感染予防対策を徹底していきながら、子供達が毎日楽しく過ごせるよう、一日一日を大切にしていきたいですね。

自立活動の授業づくり

自立活動の授業づくりに関して「何をすればよいのか」「みんなどんなことをしているんだろう」と不安に思ったり悩んだりしている方もいると思います。今年度の地域の研修でも多く話題に挙がっていました。自立活動とは何か、どのような流れで授業を考えていけばよいのかを確認してみましょう。

○自立活動とは・・・

障害のある子供達が自立や社会参加を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服するために、必要な知識技能を身に付けることです。障害のある子供達の指導には重要な学習です。

自立活動の内容は、「健康の保持」「心理的な安定」「人間関係の形成」「環境の把握」「身体の動き」「コミュニケーション」の6区分に分類・整理されています。項目については平成29年の指導要領改訂に伴い、27項目に変更されました。

○自立活動の特色

① まず、子供をよく知ること（的確な実態把握）からスタートします。

自立活動の取り組みは実態把握から始まります。子供に関する様々な情報を収集し、分析して、的確な実態把握をすることが不可欠となります。

② 指導目標や指導内容は一人一人の実態に合わせて設定します。

個別の指導計画を作成し、それに基づいて指導します。

③ 個々の障害による日常生活や学習場面での困難さに焦点を当てて取り組みます。

課題を抽出・整理し、中心的な課題を出す。自立活動の指導を中心に指導します。

④ 個別指導を基本とします。

自立活動の時間は個別指導が基本です。集団で行うことが目標を達成する上で効果的な場合は、集団で指導を行うこともあります。必ず個に応じた指導を充実することが求められます。

①健康の保持

生命を維持し、日常生活を行うために必要な身体の状態の維持・改善を図ることがねらいです。

例えば、体温調節や覚醒睡眠リズムを獲得したり、自分の病気や身体の状態を理解したり、健康面を自己管理できるようになることなどを学習します。



②心理的な安定

自分の気持ちや感情をコントロールして、変化する状況に適切に対応したり、障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲の向上を図ることがねらいです。

例えば、情緒の安定のための取り組みや場所・場面の状況や変化する状況を理解して適切な対応ができるようになることなどを学習します。



③人間関係の形成

自分や他人をよく理解し、人間関係を円滑にし、集団参加の基盤を培うことがねらいです。

例えば、人に対する基本的な信頼感を持ち、人からの働きかけを受け止め、応じることができるようにしたり、他者の意図や感情を理解したり、場に応じた適切な行動をとれるようになることなどを学習します。



④環境の把握

感覚を有効に活用し、空間や時間などの概念を手掛かりに、周囲の状況や環境と自分の関係を理解して的確に判断し、行動できることがねらいです。

例えば、持っている感覚を十分に活用できるようにする指導や感覚過敏や認知の偏り等が課題となる子供への指導も行われます。



⑤身体の動き

日常生活や作業に必要な基本動作を習得し、生活の中で適切な身体の動きができるようになることがねらいです。

例えば、日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や手足の動きの改善、間接拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化を行ったり、必要な補助具を活用したり歩行や歩行器、車いすを使った移動の練習、手の使い方などを学習します。



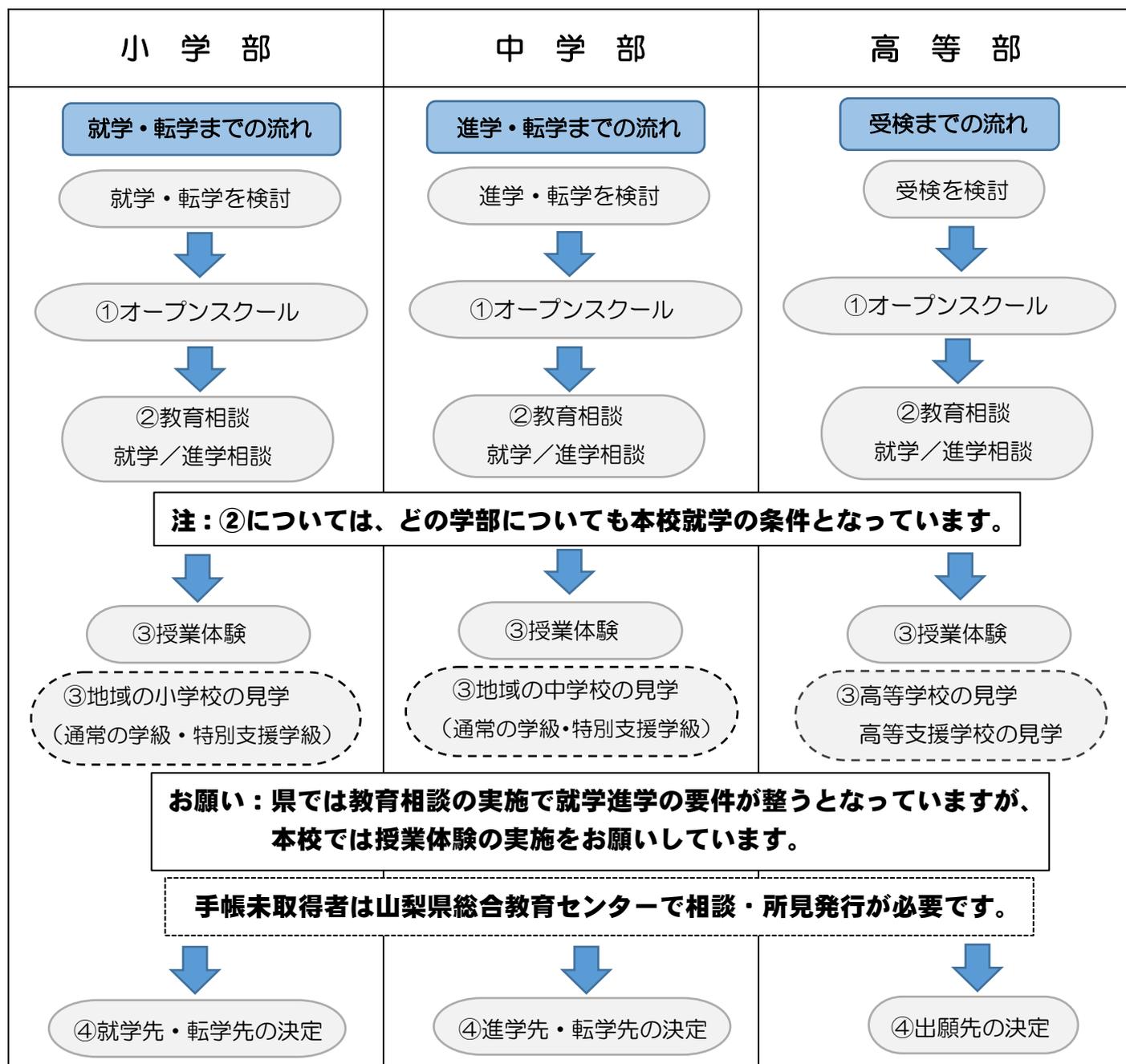
⑥コミュニケーション

場や相手に応じてコミュニケーションを円滑に行えることがねらいです。例えば、コミュニケーションの基礎的能力として、表情で表すことや身振りやサインでの練習や発声の基礎となる呼吸の練習や発音の練習だけでなく、筆談や文字盤を活用するなど、音声言語以外の手段で意思を伝える学習や状況に応じたコミュニケーションを学習します。



6
つ
の
区
分

本校における就学・進学・転学の流れについて



進路指導については、早い時期から将来の話を折りに触れて行き、本人の思いや希望を聞く中で、本人と保護者、学校が一緒に考えていけると良いです。子供にとっては、就学・進学してからの生活をどう過ごすか、どう過ごせるかがとても重要になってきます。そのため、実際に、本人が見学や体験をして検討することが大切です。昨年、今年とコロナウイルス感染拡大のため、本校でのオープンスクールや授業体験が実施できない時期もありました。

自分で見通しをもって進路についての計画を立てることが難しいお子さんも多くいるように思います。希望決定の直前になり、焦って進路決定をすることとならないよう、周りで関わる教員や大人が見通しをもって声掛け等をしていただくと良いと思います。ぜひ、早めに取り組みをしていただき、相談・希望がありましたら下記までご連絡ください。

お気軽にお問い合わせください。

山梨県立ふじざくら支援学校

地域支援部 担当：石井めぐみ 宮下祥子 小宮山麻子 古屋智子 山本志織

〒401-0301 南都留郡富士河口湖町船津 6663-1

TEL 0555-72-5161 FAX 0555-72-5164

E-mail chiiki@fujizaky.kai.ed.jp HP <http://www.fujizaky.kai.ed.jp>